

(8) 質問者議員 丹羽 実

件名1 新年度の予算に関わって安心安全のまちづくりを。

要旨1 令和7年の3月、6月と12月市議会で取り上げた自治会のLED電気代全額補助については、自治会間で不公平にならないように国の交付金を使っての支援制度が実施されるようになりました。大いに評価するものです。

(1) これによって市内の自治会全体では、いくら電気代を払わなくて済むのか。

要旨2 地震発生時の家具転倒防止器具補助金制度の創設は新年度どのようになりますか。

(1) 感震ブレーカー設置なども含め、制度の内容をお聞きします。

要旨3 近年高齢化が進み、投票所が遠くて行けない、市内に2か所ある期日前投票所も、車での送迎等1人で行くことが困難な方が増えています。

(1) 市に依頼すれば、期日前投票に行ける制度など、投票所に行きたくても困難な方に支援することを考えるべきでないか。

要旨4 市道三日市町高向線（通称よしや峠）の道路拡幅工事に取りかかる費用も予算化されていません。状況は。

件名2 2050年までにCO₂排出ゼロを達成するために。

要旨1 新年度で4年目になる「再生可能エネルギー導入促進補助金制度」は、今年度初めて締め切りを待たずに締め切られた。新年度も5,595万円（うち市の支出は600万円）と交付金5,265万円の予算がつけられる見通しです。

(1) 今年度と比較すれば内容的に進展するところがありますか。

(2) 年度途中で締め切らざるを得なかったことを教訓に、新年度さらに工夫することはありますか。

(3) 再生可能エネルギー導入促進補助金制度の終了を待つことなく、河内長野市独自の太陽光パネル補助などCO₂削減支援制度を創設すべきではないか。

要旨 2 住居の「断熱等級」を上げる施策を本気でやるべきではないか。

- (1) 国に対し断熱基準引上げを要望し、既存住宅に断熱効果大きい環境省の「既存住宅の断熱リフォーム支援事業」啓発キャンペーンを実施し、どれだけ冷暖房費の節約になるかなど市民の関心を引く企画を計画すべきではないか。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者